

## Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

## マーケットサマリー

先週末のドルアルスポット相場は、週末27日にギリシャ救済策に関する最後のユーロ圏財相会合が控えていることもあり、引けにかけて終始方向感なく推移。一時3.14台前半までアル売りが進行する時間帯も見られたが、最終的には3.12台後半で取引を終えた。マーケットでは、「ギリシャ債権者が交渉の行き詰まりを開拓するため、救済プログラムの5ヶ月間延長と155億ユーロの資金供与を提案」との報道が流れたものの、週末の合意内容を見極めたいとの思惑から為替に特段目立った反応は見られなかった。一方、ボベスパ株式指数は2017年インフレ目標レンジの縮小を好感し、前日比1.6%高へ急伸。中銀は従来から、「2016年末までにインフレ率を政府目標中心値(4.5%)に収束させる」との姿勢を示していたが、実際には9%台手前までインフレ率は高止まりしており、インフレ率抑制に向けた政府の取組みに懐疑的な見方が広まっていた。今回の決定は中銀の信認を高めると共に、市場の信頼回復にも役立った。

週末に開催されたギリシャと債権団の交渉では、債権団が示した「5ヶ月支援延長案」をギリシャ側が拒否。Tsipras首相は最新の支援条件を巡り7月5日に国民投票を実施すると表明した。しかし、債権団は国民投票の実施に反対。国際通貨基金(IMF)も、「ギリシャ国民投票の対象となる債権国側の提案は、7月5日時点では最早無効」との見解を示した。ギリシャのデフォルト及びユーロ圏離脱への懸念が高まったことで、週明けのマーケットはグローバルにリスク回避の動きが進行している。

## マーケットデータ

Indicator	Unit	6月25日	6月26日	前日比	5月26日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	39,53	39,58	+0,05	39,04	+0,54
USD / BRL Spot	BRL	3,1275	3,1293	+0,0018	3,1535	-0,0242
USD / JPY Spot	JPY	123,63	123,85	+0,22	123,10	+0,75
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	53.176	54.017	+841	53.630	+387
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	255,6	256,4	+0,8	230,9	+25,5
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,70	12,60	-0,10	12,36	+0,24
DI Future Jul16 (金利先物)	%	14,35	14,35	+0,00	13,70	+0,65
3 Months US Dollar Libor	%	0,282	0,282	+0,000	0,286	-0,004
CRB Index (国際商品指数)	Index	224,3	224,9	+0,6	221,7	+3,2

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルアルスポットチャート



アル円スポットチャート

